

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 rows: 事業所番号 (0174300327), 法人名 ((有)M&Y), 事業所名 (グループホーム めぐみ野), 所在地 (北海道釧路郡釧路町曙1丁目2番地13), 自己評価作成日 (令和5年8月18日), 評価結果市町村受理日 (令和6年4月2日)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

コロナ禍により、ここ数年なかなか外出出来なかったのですが、今年は、外出する機会を増やしています。普段の会話からそれぞれの行きたいところを聞き取り、希望に沿うよう支援しています。例えば、お寿司を食べに行きたいと言ったら、同じ希望の方も一緒に... 釧路の名所をぐるっと回り観に行ったりしました。希望を聴いている瞬間から表情が生き生きとし楽しみにしている様子が伺えます。帰って来てからも他入居者様達とそれぞれに外出の話に花が咲いていました。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

Table with 2 columns: 基本情報リンク先URL, https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action\_kouhyou\_detail\_022\_kihon=true&JigyosyoCd=0174300327-00&ServiceCd=320

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 3 rows: 評価機関名 (特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット), 所在地 (札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401), 訪問調査日 (令和6年2月27日)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は、釧路市との境に位置し、周囲は戸建の住宅が並ぶ閑静な住宅地に位置する。大型ストアやショッピングモールも徒歩圏内であり、交通や買い物等の利便性が高い一画に立地している。道東において、多様な福祉サービス事業所を運営している法人本社と同一敷地にある事業所は、病院を改築した2階建て、各階にそれぞれ1ユニット、計18人の高齢者が生活している。ここ数年来、町内会の役員を担っており、役員として町内会行事を裏方として支え、盆踊りやお祭り等は利用者と共に参加し、町内での防災訓練実施、実習生や各種ボランティアの受け入れ、認知症カフェへの取り組みなど、地域密着型介護事業所の専門家として、介護相談等の必要な役割を担っている。現在、個別レクとして、嗜好品の買い物支援や近隣の散策等、閉じこもらない介護を目標に職員間で検討している。進展に期待したい。

Table with 4 columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Rows 56-62 detailing service outcomes and staff performance.

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念を共有し、実践に繋げている。	事業所の介護理念を見やすい場所に掲示し、職員会議や日常業務等で話し合いその理念を共有して実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	町内会に入会し町内の催し物に参加され、地域の一員として日常的に交流をしている。	今年度から町内会の催し物等が復帰し、夏祭りなどに参加して地域の方と交流を深めた。また、ボランティアや実習生の受け入れを行う等、事業所の持つ機能を地域に還元している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内会行事に参加し、地域の方との交流を深めボランティアの協力や実習生の受け入れも行って		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の中で多くの意見や要望を聞き、サービス向上に活かしている。	現在は集合型で各委員等の参加を得ながら、運営推進会議を2ヶ月毎に定期開催している。議事録を送付し、意見を聞き取ることで、運営に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に参加して頂き、コロナの為野外昼食会を中止していたが今年は8月開催予定しており協力関係を築く取り組みを行っている。	行政窓口とは、各種の情報交換や地域的な支援体制の問題で連携して役割を担っており、地域高齢者や事業所の状況について、窓口と情報交換を行っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会で話し合い、活動方針を決め、会議の場で報告し身体拘束をしないケアの実践に努めている。	身体拘束委員会を設置し、定例で開催、内容について職員に周知している。虐待を含めた全利用者の現状の確認と、不適正ケアの事例検討や予防方法等、研修を行いながら拘束虐待等はあってはならないケアとして認識、確認している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会や職員会議等で利用者様の尊厳と主体性を尊重し虐待防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	会議などで、必要な利用者さんに活用出来るよう話し合い、支援を行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書に目を通して頂き、不安や疑問点等確認し、十分な説明を行い理解・納得して頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様やご家族から意見や要望があった際、会議、カンファレンスで話し合い反映出来るよう取り組んでいる。	家族には電話や来訪時に様子等を伝え、意見・要望をお聞きし職員間で検討・共有している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議等以外でもコミュニケーションをとり意見を聞いて反映出来る様にしている。	申し送りや日業業務内の場で提案や意見を聞き取り、職員との関係を維持している。また、管理者による個別面談で意見やアイデア、工夫について運営に取り入れている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員一人ひとりの努力、実績、勤務状況を把握し向上心を持って働けるよう今後も環境の整備などに努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月勉強会を行っているが法人外の研修にはあまり参加出来ていなかった為、出来る限り参加して日常のケアに役立てて行く。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ等のため、落ち着いて研修や意見交換があまり出来ていなかった為、これからはより、交流を図って行きたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人様、家族様にお話しを聞き、スタッフが連携し、安心して頂けるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	不安、心配、意見、要望などを聞き、出来る事は、やらせて頂くよう、努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様、家族様にお話しし、些細なことも見逃さないよう対応出来るよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様を敬う心を忘れず言動に気を付け、信頼関係を築いていけるよう、心掛けている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月通信を送り、近況を報告し、なにかあれば家族様に意見を頂き支援しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ明けに伴い、散歩やドライブなど徐々に外出する様支援している。	希望する馴染みの場所への外出は職員同行、または家族の協力を得ながら、支援している。引き続き、感染防止に留意しながら、柔軟な対応で関係が断たれないよう努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様が孤立せぬよう心掛けし、利用者様同士居間で楽しく過ごせるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入居時の時点から関係性を築き、終了後も連絡を取るようして支援出来る体制を作る。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いを聞き取り、本人の希望に添うように心掛けている。	春以降、コロナの発生状況に合わせ、馴染みの場所や希望する場所への訪問は、職員の同行や家族の協力を得て、想いに添える様、柔軟に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	月1回会議や、カンファレンスで職員の皆さんと共有し、サービスにあたっています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送りなどで、職員みんなまで共有し、介助する様にしています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月に一度会議とカンファレンスで一人ひとり細かく話し合いをし介護にあたっています。	利用者本位を基本に本人、家族、医療機関等の意見を反映し、計画作成担当者が原案を作り、職員間でモニタリング結果と合わせて検討して、現状に即したプランを作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	連絡ノートやiPadの申し送りで、スタッフで情報を共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の方と話し合い、その時の状況に応じて適切なサービスを行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	年2回の避難訓練などを通して、地域との繋がりを大切にしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望する適切な医療を受けられるように良い関係を築いている。	かかりつけ医は利用者と家族の意向で決定している。協力医療機関、訪問看護より随時助言を得て、体調面・支援方法について職員間で共有している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	2週間毎に訪看さんが来訪するので困り事を相談したり、指示等をもらい連絡ノートを活用し、スタッフ全員が把握するようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は、スタッフも一緒に付き添い、状況をしっかり伝えている。又、退院に備え家族や病院関係者と情報交換を行い、スタッフともしっかり話し合いを行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に説明しているがホームとして何処まで出来るか、その都度スタッフと話し合い色々なケースを考えている。	看取りに関する指針をもとに、あらかじめ話し合い家族の意向を確認している。また、カンファレンスにて終末期の関わりなど話し合い、ご家族にも相談し、方向性を出している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防に協力して頂きスタッフ全員が講習を受けている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	今年度から避難訓練を消防に頼み、運推メンバーにも来ていただきアドバイスを頂いた。	法人としてBCPを策定し、定例で火災・自然災害を想定した避難訓練を実施している。現在、法人の他事業所、地域との相互の協力体制や役割を再度、職員間で検討している。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、その人に合った対応をするよう努めている。	職員は日々の接遇や言葉使い、望ましいケアについて職員本位の表現とならぬよう定期的に話し合っている。不適切と思われる対応については、都度、その場で改善に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々生活する中で利用者さんの意向を気にかけて、自分らしさを表現出来る様話している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者さん一人ひとりのペースを大切にし、毎日を健康で楽しく過ごせる様支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	髪は、定期的に美容師さんに来てもらい、洋服選びや洗面等一部出来ない所は介助し、いつも清潔で綺麗にしていれるようお手伝いさせてもらっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ただ食べるだけでなく見た目にも楽しくなるような盛り付けをし食事を一緒にする。	季節や馴染みの食材を取り入れ、利用者から嗜好を聞き取り、献立を作成している。行事食やおやつ等、外食気分を味わえる工夫で、食事が楽しみある時間となるよう努めている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事は同じような麺類やごはん物にならないようにし、水分は常に気をつけ一日の摂取量を確認する。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後声がけ時には、一緒に付き添い口腔ケアをして頂く。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	パットをしている利用者も時間をみてトイレ誘導し、トイレで気持ち良く排泄する習慣を作っている。	トイレでの排泄を基本として取り組んでおり、一人ひとりの排泄パターンやサインをチェック表で共有し、水分摂取や運動を取り入れる等、自然な排泄となるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	何日出ていないか確認し、水分を多めに摂って頂く。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	本人の体調はもちろん、よく入浴中は、お話をしたり、楽しい入浴を心掛けている。	その日の体調をみながら支援を行っている。利用者の希望を取り入れ、入浴が快適なものになるよう努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は、体操をして頂いたり、口腔ケアや脳トレなどをみんなで出来る事をして頂く。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	必ず名前と本人が一致しているか確認してから飲んで頂いている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	天気の良い日は、外に散歩に行ったり、一緒に歌ったり、昔の話を聞いたりして気分転換をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個別レクや散歩を行っています。	緩和後は感染防止に留意しながら、散歩や買い物等、個別対応にて可能な限り、外出が出来るよう支援している。今年度はコロナ禍で自粛していた行事等を職員間で話し合い、感染防止に留意しながら再開させた。	個別レクとして、嗜好品の買い物支援や近隣の散歩等、閉じこもらない介護を目標に職員間で検討している。進展に期待したい。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	施設側で管理をしています。必要な時や買い物希望の際は、使えるようにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族からの電話の取次ぎや暑中見舞いなど用意し書いて頂いている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様の希望に合わせて温度調整や季節ごとに合わせて壁画などの飾りつけをしている。	リビングでは、食卓やソファで利用者それぞれが寛いで過ごせる空間作りをしており、温・湿度管理や換気、音や光に配慮している。利用者と共に作成した季節を感じられる作品を掲示する等、温かみある雰囲気作りをしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テレビが観たい時は、ソファに座り眺めたり、他入居者と話しをしたり、昼寝をしたときは、自室で横になったりしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	仏壇を置いてる方や昔から使っているタンスを置いたり、動物が好きな方は、沢山のぬいぐるみを置いたりしています。	入所時使い慣れたものの持ち込みをお勧めしているので、それぞれが使い慣れた家具や好みの物など持ち込み居心地良く過ごせる様にしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各居室の入り口には名札を飾り、迷わないようにしている。居室内も動きやすいように配置をしている。		